

# いま、AMラジオが 注目されている理由

(株)中国放送  
ラジオ局長 畑 和行



## 「注目される3つの理由」

AMラジオの開始から間もなく百年。

- ① ラジオの “聴き方” が激変
- ② 進む “インターネット活用”
- ③ 異常気象、新型コロナ…高まる “期待”



## AMラジオの歴史



1925年 社団法人東京放送局（NHKの前身）が日本初のラジオ放送

1945年 8/15 昭和天皇が玉音放送

1951年 民間として初めて中部日本放送（現CBCラジオ）が放送開始

1952年 ラジオ中国（現中国放送）が放送開始

（1953年 RSK山陽放送・山陰放送 1956年 山口放送）

1953年  
テレビ放送開始



開局当時のラジオ中国（RCC）

## 全国のAM放送局



テレビとの兼営局 31社



ラジオのみの単営局 16社

計47社

## AMラジオのネットワーク



テレビのネットワークと比べて  
全国ネットの番組は総じて少ない

ローカル局  
自社でつくる番組数が圧倒的に多い  
(RCC:自社制作比率 60%前後)

## ラジオの広告費

2020年度	1,066億円
2019年度	1,260億円
2018年度	1,278億円
2017年度	1,290億円
2016年度	1,285億円
⋮	
2005年度	1,788億円

インターネット広告

新型コロナ

イベント中止も影響

電通「日本の広告費」より

## ラジオを何で聞いていますか？

	首都圏	広島エリア
 ラジカセ・ポータブルラジオなど	60%	55%
 カーラジオ	25%	28%
 スマホ・パソコンなど (通信)	<u>48%</u>	<u>36%</u>

ビデオリサーチ調べ  
ACRex2021年4~6月調査結果より  
首都圏=東京50km圏



## 放送と通信の歴史

2006年



『なぜインターネットでテレビが見られないのか』

竹中平蔵 総務大臣 (当時)

「通信と放送のあり方に関する懇談会」立ち上げ

2010年



インターネットによるラジオの同時配信

**radiko** 東阪でサービス開始  
ラジコ

2015年



民放共同の動画配信サービス

**Tver** (ティーバー) 開始

**2022年**以降、TVキー5局の同時配信を実施へ



画期的なラジオ同時配信サービス

radiko

月間ユーザー数はコロナ禍で  
750万→900万人に

- ・県内の地上波放送をスマホやパソコンで聴ける。
- ・1週間以内の放送も無料で聴取可能。  
(有料会員になると県外の放送も聴き放題=エリアフリー)

音声配信サービスの広がり



Apple Podcast

Google Podcast



- ・聞き逃したラジオ番組や人気コーナーを好きな時に聴ける。

→キー・準キー局を中心に各局が番組コンテンツの“配信サービス”を展開

RCCも複数のコンテンツを  
Podcast や Spotify 等で無料配信中



取締役社長・CEOの横山淳(よこ)

コード(MP3)

「ヒロマツ SATADAY PIT IN」  
(土曜11時放送) ホームページ



radikoのエリアフリーで  
広島県外から聞かれる人気番組

Veryカープ!

広島カープの実況中継



「ごぜん様さま」月～金9時放送



「バリシャキNOW」月～木15時放送

## 新型コロナウイルスが ラジオに及ぼした変化

### ラジオの聴取率UP



個人に寄り添うメディア  
集ごもり・癒し

感染が拡大した2020年4月  
RCCワイド番組の聴取率が軒並み上がる

「おひる-な」(月-木11:40)は  
4月のライブ聴取数が2月から倍増  
(右上グラフ・radikoデータより)

リアル開催の中止を受けて・・・  
**オンラインの  
イベント開催が活発に**



「広島市防災セミナー」

ラジオと通信の親和性を生かして  
「ラジオ放送」を「ネット動画」で同時配信



「終活宣言NO.1」

## AMラジオの歴史



- 1925年 社団法人東京放送局 (NHKの前身) が日本初のラジオ放送
- 1945年 8/15 昭和天皇が玉音放送 (社団法人日本放送協会)
- 1951年 民間として初めて中部日本放送 (現CBCラジオ) が放送開始
- 1952年 ラジオ中国 (現中国放送) が放送を開始  
(1953年 RSK山陽放送・山陰放送 1956年 山口放送)

### 2011年 東日本大震災

### 2014年 FM補完(ワイドFM)放送開始



開局当時のラジオ中国 (RCC)

## AMラジオと災害・気象情報

東日本大震災をきっかけに災害時のラジオの重要性が一層高まった



北海道胆振東部地震  
(発生:2018年9月6日未明)  
最大震度7。道内ほぼ全域が停電

図表 23 北海道胆振東部地震に関する調査結果  
使用したメディア・コミュニケーション手段（当日）



民放連研究所（2018年10月調査）資料より

## 気象や災害に関する情報発信の強化



「本名正憲のおはようラジオ」  
月一金7:00

RCCは気象予報士4名でつくる  
「ウエザーセンター」を立ち上げ、  
2020年6月からは独自の予報も  
発信可能にー



## AMラジオの放送ネットワーク強靱化

- AM送信所の津波・浸水リスク
- 都市部や山間、島しょ部での「難聴」問題

FM波による補完放送  
(AMラジオと同じ内容)

新たな送信所の建設や  
AM&FM維持の多大な負担

## 「注目される3つの理由」

AMラジオの開始から間もなく百年。

- ① ラジオの“聴き方”が激変
- ② 進む“インターネット活用”
- ③ 異常気象、新型コロナ…高まる“期待”
- ④ “FM転換” AM事業者はFM事業者へ

ご清聴いただき、ありがとうございました

